

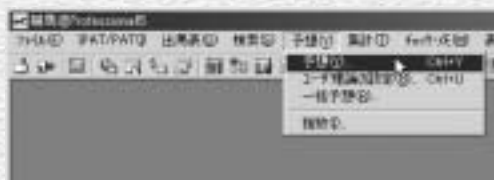
2

レースを予想する

2-1 収録理論で予想する

競馬道Pro5には、著名な競馬評論家による7本の予想理論が収録されています。これに加え、競馬道独自の汎用理論3本と全GIレース理論21本の、合計31本の予想理論を備えています。

収録理論で予想する手順



① 1章までの手順で予想したいレースを含む「出馬表+競走馬」ファイルを登録し、メインメニューの「予想」から「予想」を選択します。出馬表を表示させてから（88ページ）、[拡張コマンド] - 「予想」で予想をすることもできます。



② 予想に利用する理論と、予想したいレースを選択します。この例では「競馬道汎用理論」を使って、関屋記念を予想してみます。[実行]をクリックすると、予想が開始されます。



③ 予想処理が終了した画面です。[理論]の欄にある印が予想理論による予想印です。[予想]は競馬ブック予想印*、[斤量]と[総合]の間にある「コース目出」、[距離適性]等の数値は、予想理論で利用しているそれぞれの予想項目での各馬の順位を示したものです。詳細は、買い目と枠順の間にあるそれぞれのタブをクリックすることで確認できます。既にレースが終了し、成績を登録している場合は一番右に着順が表示されます。

*予想印は東：松本憲二、西：中野秀幸の予想印

馬場状態、コースを変更する

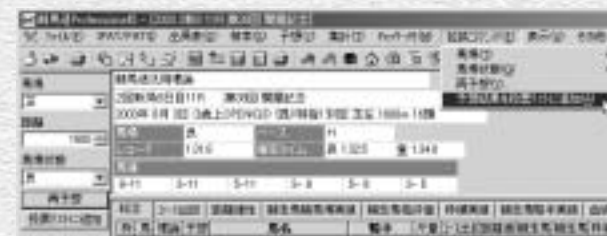
① 競馬道Pro5の予想理論では、良馬場を前提に予想が行なわれます。良馬場以外でレースが行なわれる場合、あるいは雪で芝のレースがダート変更になった場合などは、予想結果表示時にメインメニューの「拡張コマンド」から、馬場や馬場状態を変更してください。距離は「拡張ボックス」で変更できます。変更後は、「拡張コマンド」から「再予想」を選択することで、変更結果が予想に反映されます。



予想結果をIPAT投票機能に転送する

▶ IPAT投票機能についての詳細は、3章「IPAT/PATを活用する」(→71ページ)をご覧ください。

① 競馬道Pro5では、予想結果の「買い目」をIPAT投票機能の投票リストに転送することができます。予想が終了したら、メインメニューの「拡張コマンド」から「予想結果を投票リストに追加」を選択するか、「拡張ボックス」の「投票リストに追加」ボタンをクリックします。



② 投票要項取得の確認ダイアログが表示されます。当日に投票要項を取得していない場合は「はい」を、既に取得している場合は「いいえ」をクリックすると、「IPAT投票」ウィンドウが表示されます。金額の調整を行ない、「投票」をクリックすればIPAT投票が実行されます。



競馬評論家の理論

著名な競馬評論家陣によるプロの「予想理論」とその予想項目の設定のポイントを解説していただきました。予想の実行にはもちろん、オリジナルの理論を構築する際の参考としてお役立てください。

原 良馬



競馬の予想には様々な要素がありますが、私が最も重視する要素は、各馬の「距離適性」そして「コース実績」（競馬場適性・芝ダート適性）です。次に騎手の実績や着差タイムなどを考慮しながら予想を組み立てていきます。

新馬券が発売され馬券の選択肢が増えたことで、予想の楽しみも増えましたが、それと同時に検討する要素も多くなりました。むやみに高配当を狙って馬単・3連複を買うのではなく、予想するレースが堅そうか、荒れそうかという点に着目して、どの馬券を買うのか見極めましょう。

私たち専門家は「勝つ馬を見つける」ことが仕事ですから、馬単の予想には自信があります。馬単専用理論は、勝ち馬を堅実に押さえるための理論です。競走馬の「勝率」「コース適性」を重視しています。「競走馬2着率」は「特に大崩れをしないか勝てない馬」を探すために、馬単予想ではぜひ押さえてほしい要素です。

3連複は高い配当ばかりが印象に残りますが、実際は1・2番人気絡む確率が大変高いことを忘れないください。私は4頭ボックス4点買い程度に点数を押さえ、3000円から8000円程度の配当を確実に当てていくことをおすすめします。3連複理論は馬の距離実績や距離3着内率など、競走馬の距離適性を重視した理論になっています。

ただ、予想するレースに合わせて馬券を選ぶことが大切であると前述したように、レースのクラスや距離を考慮することで重視する要素は変化します。新馬戦では血統・騎手を重視すること。特に有力ジョッキーが、地方開催にわざわざ来て乗るような場合は要注意です。長距離戦では、ペース配分や仕掛けのタイミングのうまい、実績のある騎手がキーポイントになります。このように、予想するレースに合わせて臨機応変に理論を調整することで、回収率を上げることができるでしょう。

原良馬の馬単理論

競走馬	競走馬勝率	100	競走馬	競走馬コース適性	100
競走馬	競走馬2着率	60	厩舎	トレーナー連対率	100
騎手	騎手クラス連対率	60	競走馬	穴馬期待度	50
人気オッズ	人気評価	100	タイム	上がり3F	100



原良馬の3連複理論

競走馬	競走馬距離連対率	85	種牡馬	種牡馬距離実績	100
競走馬	競走馬距離3着内率	35	種牡馬	種牡馬競馬場実績	100
競走馬	穴馬期待度	10	厩舎	トレーナークラス3着内率	50
騎手	騎手クラス3着内率	85	タイム	着差タイム	30



市丸 博司



競馬道Vシリーズ、Proシリーズと「ダート短距離理論」を掲載させていただきました。ダートの短距離という限定された条件とはいえ、なかなかの回収率を残した優れた理論だったのではないかと自負しています。

しかし、新馬券の登場によって、競馬ファンのニーズが「少ない投資額で大穴を狙う馬券」へとシフトしてきたのではないかと。最近では、そう考えています。したがって「競馬道Pro3」より収録した理論では、確実に当てに行く馬券から大穴志向へと180度転換してみました。名づけて「3連複大穴理論」。名前どおり、3連複の穴馬券をゲットするための理論です。

この理論は、新馬券が正式導入された2002年7月13日から8月4日までの8日間288レースを対象にして3連複で回収率計算したところ、的中率33%回収率186%をマークしました。ただし、買い目は「6頭ボックス20点買い」に設定しましたのでご注意ください。もう少し減らすことも考えましたが、あくまでも大穴を取ることを最優先させました。

2003年の重賞レースでも、ダービー脚CT23090円をはじめ、クイーンC16700円、新潟大賞典10020円、マーメイドS4880円など、バシバシ当たっています。

ただ、いわゆるトリガミとなる2000円未満の配当も当たってしまいます。20点も買う以上、こういう配当は当たっても仕方ありません。したがって、多少の中率は犠牲になってしまいますが、「20倍未満の買い目は買わない」などの方法で買い目を減らす作戦も考えられるでしょう。逆に、的中させることが大切だと考えるなら、トリガミは覚悟の上で敢えて買う作戦もあるかもしれません。

理論構成上は、騎手カテゴリーが3つ、種牡馬カテゴリーが2つと、人気にそれほど結びつかないファクターを多くしてみました。人気に直接結びつくタイム系は2つ、競走馬系は1つ。これによって、人気と実力のバランスがうまく取れたのではないのでしょうか。

実際にこの理論を馬券に応用される場合ですが、「狙ったレースで大きく勝負！」というやり方には向かないとお考えください。数多くのレースで少額ずつ試してみて、たまに穴馬券が引っかけたら儲けモノ。そんな買い方が一番向いているはず。朝から夕方まで、日がな一日馬券を楽しみたい方向けの理論なのです。

市丸博司の3連複大穴理論

騎手	騎手距離2着率	80	競走馬	距離適性	20
騎手	騎手クラス3着内率	10	ブック	レコード指数	85
種牡馬	種牡馬レース実績	20	タイム	着差タイム	50
騎手	騎手クラス勝率	60	種牡馬	種牡馬距離実績	70



奥田隆一郎

「直結データ激走理論(芝中・長距離編)」



競馬道Pro5の予想項目データに、私の競馬理論である「直結指数」が搭載された。そこで、競馬道Pro5を利用して、新たな必勝理論の開発に着手。「直結指数」が得意とする芝中・長距離において、競馬道Pro5の予想項目データを組み合わせた結果、「直結データ激走理論」が完成した。買い目は、総合指数1位から2~5位に流す馬連4点買い。芝2000m以上・クラス1000万以上で、2003年1月5日~2003年7月27日の期間において、的中率23.7%・回収率130.7%と非常に高い数値を叩きだした優れたものである。G1宝塚記念を含む万馬券2本が的中、コンスタントに的中するだけでなく、破壊力も兼ね備えた予想理論である。

内容については、「コース適性」+「能力」+「アルファ(騎手・トレーナー・枠順等)」で組み立てた。「コース適性」については、「直結指数」を100%使用。「能力」については、中長距離で重要なファクターである「上がり3ハロン」を100%使用。プラスアルファについては、騎手・トレーナー、そして基本的に多頭数のレースが多いので、枠順・頭数のデータを補完データとして均等に配分した。

「直結指数」とは、競走馬の適性を指数で表現した必勝法である。直結指数が良い馬ほど、当該レースコースに対する適性が高いことを意味しており、勝馬・穴馬を、簡単に導き出せる。適性を指数化するための基準は、競走馬の実績のみ。レース出走馬が、過去に激走或いは凡走したコースと、レースが施行されるコースとのつながりだけで、競走馬の適性の有無を判断する。宝塚記念を例に説明すると、京都芝3200mと阪神芝2200mは同じ適性が要求される直結コースであることから、天皇賞(春)勝ち馬のヒシミラクルが、コース適性の高さを活かして優勝したのである。

理論の詳細に興味のある方は、競馬道OnLineの「奥田隆一郎の直結指数ダイナマイツ」をご覧ください。さて、今回の理論では、「能力」については、中・長距離での的中率・回収率アップの視点で、「上がり3ハロン」に特化して組み立てたが、様々なアプローチの方法があると思うので皆さんも「競馬道Pro5」を駆使して、オリジナルの最強理論を作ってほしい。私も「直結データ激走理論」の短距離編・ダート編に取りかかる。ともに、競馬常勝の道を歩みましょう。

直結データ激走理論(芝中・長距離編)

競走馬	直結指数	100	騎手	騎手クラス連対率	25
競走馬	枠順実績	25	厩舎	トレーナークラス連対率	25
競走馬	頭数実績	25	タイム	上がり3F	100



買い目の設定方法

①競馬道Pro5の予想理論では、予想印だけではなく買い目も提示されます。初期設定状態ではポイント上位4頭の馬連ボックスが買い目となる設定になっています。画面は42ページで行なった「競馬道汎用理論」による予想結果ですが、理論による予想印は◎から×までの上位5頭についているのに対し、買い目は上位4頭のボックスとなっています。買い目の設定はオプション設定から変更することが可能です。



②買い目の変更は、メインメニューにある「その他」から「オプション設定」を選択して行ないます。ここでは「馬/ワイド」のタブを選択して、馬連とワイドの買い目を軸馬から4点の流し買いに変更してみます。「買い方」の項目で「2」の流し買いに変更し、ポイント1位の馬を軸に2位から4点流すように設定すれば完了です。「枠」[単/複] [馬単] [3連複]のタブでも同様の設定が可能です。なお、ここでは各馬のポイントによって流し買いや1点勝負にする「例外」設定もできます。



③買い目の設定を変更した後、42ページの例と同じように予想をした結果の画面です。「買い目」の欄が本命馬を軸にした4点の流しに変更されています。買い目を変更した後の再予想は、予想結果を表示している状態で、メニューにある「拡張コマンド」から「再予想」を選択することでも行なえます。

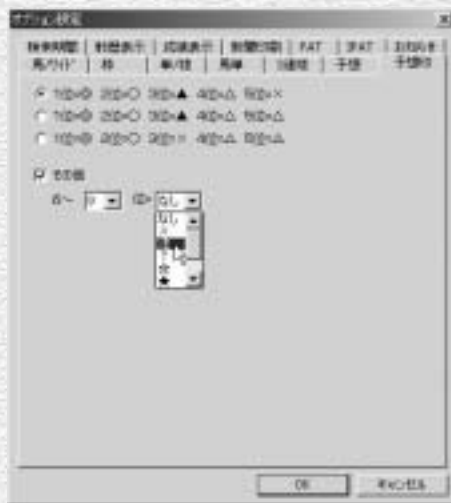


④ 予想の買い目表示は、馬連だけではなく、馬単や3連複にすることもできます。メインメニューの「その他」から「オプション設定」を選択し、「予想」タブをクリックします。買い目を表示する馬券種別にチェックを入れ【OK】をクリックすると、予想結果に表示される馬券の種類が変更されます。
 [中央競馬開催以外のレースは予想で使わない]については下記「アドバイス」を、[予想結果にフィルターを適用する]については49ページをご覧ください。

▶ この画面で買い目表示を変更すると、回収率計算における馬券種別も同時に変更されます。回収率計算についての詳細は5章の「回収率計算」(→131ページ)をご覧ください。



⑤ 普段使っている競馬新聞等にあわせて、予想理論を利用した予想結果の予想印を変更することも可能です。予想印の変更は、メインメニューの「その他」から「オプション設定」を選択し、「予想印」タブから行ないます。
 通常はポイント上位5頭までの馬に印が表示されますが、「その他」をチェックすれば6位から9位の馬に対しても、7種類の予想印の中から1つの印を選んで印を表示することが可能です。



アドバイス

予想に地方や海外のレース結果を使用しない

予想するレースの条件や適用する理論によっては、地方競馬で好成績を残している種牡馬や騎手が高い評価を獲得し、その産駒や騎乗馬のポイントが極端に高くなる場合があります。手順④で「中央競馬開催

以外のレースは予想で使わない」にチェックを入れると、地方競馬や海外のレース結果が予想に反映されなくなりますので、レースや理論に応じてチェックを入れてください。

2-2 予想フィルターの設定

競馬道Pro5では、理論による予想結果の精度を一層向上させるために「予想フィルター」機能が搭載されました。ここでは、その概要を紹介します。

予想フィルターの概要

枠	馬	理論	予想	馬名	騎手
3	5	◎	◎	シンボリクリスエス	デザーモ
5	10	○		ヒシミラクル	角田
3	6	▲	○	ネオユニヴァース	デムーロ
4	7	△		サンライズジェガー	後藤
8	17	×		ダイタクバートラム	武豊
5	9		×	ツルマルボーイ	横山典



枠	馬	理論	予想	馬名	騎手
5	10	◎		ヒシミラクル	角田
3	6	○	○	ネオユニヴァース	デムーロ
4	7	▲		サンライズジェガー	後藤
8	17	△		ダイタクバートラム	武豊
5	9	×	×	ツルマルボーイ	横山典
3	5		◎	シンボリクリスエス	デザーモ

「予想フィルター」機能とは、「休養明け」や「初芝・初ダート」「降級」などといった要素で各馬のポイントを増減し、理論による予想精度の向上を図る機能です。画面は2003年の宝塚記念を予想した例で、フィルターの適用前は休養明けのシンボリクリスエスが本命となっているのに対し、適用後はヒシミラクルが本命となり、シンボリクリスエスは6番手評価となっています。

予想フィルターの項目

「予想フィルター」機能では、[出走間隔][◎・國馬][初芝・初ダート][騎手][距離][クラス]の6項目の設定が可能です。設定内容の詳細は51ページ手順⑤をご覧ください。
 なお、「予想フィルター」は「予想」の他に「一括予想」機能(→56ページ)や「最適理論構築」機能(→60ページ)「回収率計算」(131ページ)にも適用できます(→50ページ、アドバイス)。

予想フィルターの適用と設定

①まず、理論による予想結果に「予想フィルター」を適用する設定を行ないます。メインメニューの[その他]から[オプション設定]をクリックします。



②[オプション設定] ウィンドウが開いたら、[予想] タブを選択します。画面下部にある[予想結果にフィルターを適用する]のチェックボックスをチェックし、[OK] をクリックしてください。



③続いて、予想フィルターの内容を編集します。メインメニューの[予想]から[ユーザ理論の設定]を選択します。



アドバイス

「一括予想」「最適理論構築」「回収率計算」にフィルターを適用する

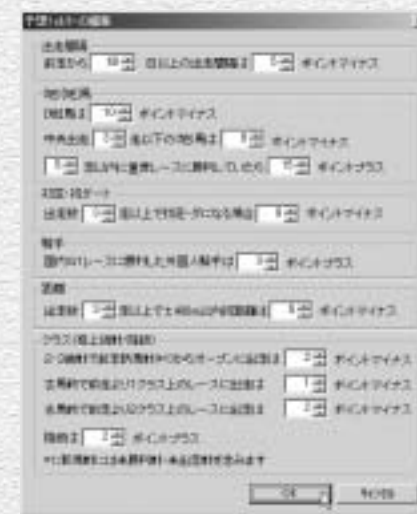
このページの上にある手順②は、メインメニューの「予想」からの予想（→42ページ）や「出馬表」からの予想（→92ページ）、そして「回収率計算」（→131ページ）に「予想フィルター」を適用する設定

です。「一括予想」（→56ページ）や「最適理論構築」（→60ページ）に「予想フィルター」を適用する際は、それぞれのオプション設定が必要になりますので注意してください。

④[ユーザ理論指定] ウィンドウが開いたら、[予想フィルターの編集] ボタンをクリックします。



⑤[予想フィルターの編集] ウィンドウが開きますので、個々の項目について数値を調整していきます。フィルターを適用しない項目については「0ポイントマイナス（プラス）」に設定してください。すべての設定が終了したら、[OK] をクリックします。以降は、ここで設定した内容が予想結果に反映されるようになります。「予想フィルター」を適用しない設定に戻す場合は、前ページ手順②で「予想結果にフィルターを適用する」のチェックを外してください。



アドバイス

クラス（格上挑戦・降級）

「クラス（格上挑戦・降級）」の項目は、出走馬の前走と今回のクラスを比較してポイントを増減するものです。そのため、「降級」にはク

ラス編成替えによる降級馬の他に、前走が格上挑戦だった馬も含まれます。

2-3 オリジナル予想理論を作る

競馬道Pro5では、収録済みの予想理論を利用するだけでなく、ユーザがオリジナルの予想理論を作成することができます。最大8つの予想項目を組み合わせられ、それぞれのウエイト(重視度)も調整できるため、作成できる理論の数はほぼ無限大です。

新規理論の作成と予想項目の設定

- ① オリジナルの予想理論の作成は、メインメニューの「予想」から「ユーザ理論の設定」で行ないます。既に設定されている理論の一覧が表示されますので、ここでは「新規」をクリックします。また、新たに理論を作成するのではなく、既に設定されている理論をもとに予想をアレンジすることもできます。詳しくは次ページの「アドバイス」をご覧ください。



- ② 新規のユーザ理論作成画面です。まず、新しく作る理論の名称を決定します。この画面を開いた直後は、画面左上に「新規理論1」という仮の理論の名称が入力されていますので、作成したい理論の名称に書き換えてください。理論の名称は全角30文字まで入力できます。「本命理論」や「穴馬理論」など、作成したい理論によってわかりやすい理論名をつけることをおすすめします。



- ③ 理論の名称を決定したら、予想項目の設定に入ります。まず、8項目ある予想項目の左端にあるボックスをチェックします。するとその右側にある【▼】のついたプルダウンメニューが操作可能な状態になりますので、予想理論に使う項目を選択します。項目を選択すると、画面左下のボックスに、その項目についての説明が表示されますので、参考にしてください。各項目の詳細は本章の68ページ以降でも解説しています。



- ④ 続いて、予想項目のウエイト(重視度)を設定します。予想項目は最大で8項目設定できますが、このウエイトを調整することによって、それぞれの項目を予想に反映する割合を決めることができます。ウエイトの設定は、項目の右にある調整バーをマウスで左右にスライドさせるか、その隣にある数値ボックスに直接数値を入力します。



アドバイス

収録理論をアレンジする

競馬道Pro5の予想理論で利用できる予想項目は多岐にわたり、この組み合わせによって、様々な予想理論を作成することができます。しかし、新たに理論を作成する場合、選択した予想項目の種類やウエイトの調整割合によっては、その予想結果があまり芳しくないケースも考えられます。そこで、最初は既にある予想理論にアレンジを加えて利用してみる

のもひとつの方法です。例えば「予想」→「ユーザ理論の設定」画面を開き、「競馬道汎用理論」を選択した状態で「複製」をクリックすると「コピー～競馬道汎用理論」というものが作成されます。これを選択して「編集」をクリックすれば、作成した「コピー～競馬道汎用理論」の内容が表示され、各項目の調整ができるようになります。



⑤次に、選択した項目の【集計対象距離】と【集計期間】を設定します。あまり対象距離や期間を広げ過ぎてもデータの信頼性が損なわれますし、狭すぎると該当する条件に出走（騎乗）した経験が少ない場合などはデータ不足になりますので注意が必要です。

なお、この【集計対象距離】や【集計期間】は、選択した予想項目によっては入力する必要がないものもあります。



⑥ここまでと同様に、2つ目以降の予想項目についても設定していきます。画面右下には、設定された予想項目の比率が棒グラフで表示されますので参考にしてください。予想項目は最大8項目となっており、1つ以上設定してあれば理論として使用可能になります。

必要な項目すべての設定が終了したら、【保存】をクリックして、作成したユーザ理論を保存します。



⑦予想理論の作成が終了したら、設定済みの理論一覧に、作成した新しい理論が加わっていることを確認してください。理論名をマウスでクリックして選択すると、画面の下に選択した理論の内容が表示されます。

この状態で【編集】をクリックすると、作成した理論の内容を修正できます。また、不要になった理論は【削除】をクリックすると削除され、【UP】【DOWN】ボタンをクリックすれば、理論の表示順を入れ替えられます。



予想理論ファイルの保存

①競馬道Pro5で作成した予想理論は、ファイルとして保存して、メールで他のPro5ユーザに渡すこともできます。「ユーザ理論指定」画面（前ページ手順⑦）で保存したい理論を選択し、【保存】をクリックします。



②右のような画面が表示されますので、ファイルの保存先を指定すればファイルへの保存は完了です。逆に予想理論ファイルを読み込む際は、「ユーザ理論指定」画面で【読み込み】をクリックします。



アドバイス

「回収率計算」で予想理論を検証する

作成した予想理論は、次ページから紹介する【一括予想】での予想にも利用することができます。しかし、作成した予想理論がどの程度の精度を持っているのか、あるいはどんなレースに向けた理論なのかを判別するためには、少々手間がかかります。そのため、競馬道Pro5には予想理論を検証する「回収率計算」機能が搭載されています。詳

しくは第5章で解説しますが、この機能を使えば過去に行われたレースの結果と作成した予想理論の予想を照らし合わせ、的中率や回収率が計算される他、的中レースの一覧も表示されます。理論を実際に利用する前に、この機能で検証しておくといいで



2-4 複数のレースを一括予想する

複数のレースをまとめて予想する機能が「一括予想」です。それぞれのレースに別の予想理論を適用することができるほか、複数の日にまたがった予想も可能なため、通常の馬券検討の際だけではなく、作成した予想理論の検証にも便利な機能です。

予想するレースの選択

① 一括予想は通常の予想と同様に、予想したい日の「出馬表+競走馬」ファイルが必要になりますので、予想を行なう前にあらかじめダウンロードし、競馬道Pro5に登録しておいてください。

メインメニューの「予想」から「一括予想」を選択すると、[レース一括予想]のウィンドウが表示されます。はじめて一括予想をする場合は、ここで「オプション」の設定を行ないます。



② [オプション]の「馬/ワイド」タブをクリックして買い目の設定をします。設定方法は47ページで解説したものと一緒ですが、通常の予想と一括予想では異なる設定を利用しますので、それぞれについてオプション設定を行なってください。予想結果に馬単や3連複などを利用する場合も、該当するタブをクリックして同様に買い目の設定を行ないます。また「送信」タブにある「結果の作成に詳細形式を使用」をチェックしておくと、詳細な予想結果が表示できます。



③ 次に、一括予想で利用する予想理論と、予想するレースを選択します。まず画面中央上で理論を選択します。続いて、[開催年] [開催日] [競馬場] [馬券の種類] を選び、レースを選択したら、「選択したレースと理論を適用」ボタンをクリックします。画面右の「適用レース」欄に、該当するレースと馬券の種類、理論名が表示されれば1レース分の選択は完了です。



④ 同様に、予想したいレースを全て選択していきます。キーボードの「CTRL」キーまたは「SHIFT」キーを押しながらレース名をクリックすれば、複数のレースを選択することができます。表示されている全レースを選択する場合は「全選択」ボタンをクリックしてください。予想理論を変更すれば、同一レースに複数の予想理論を適用することもできます。選択できるレース数は任意ですが、レース数に比例して予想にかかる時間は長くなります。



⑤ 予想するレースを選択し終わったら、画面でレースや適用する理論等に間違いがないことを確認します。もし間違ったレースを選択してしまっていたり、適用する理論を変更したい場合は、適用レース欄の該当レース選択し、「削除」ボタンをクリックします。確認が終わったら「予想実行」ボタンをクリックしてください。



⑥ 予想処理が始まると、画面下にインジケータで予想の進行状況が表示されます。また、ボタン類が全て灰色になり、選択できなくなります。インジケータが右端まで到達し、予想が終了するまでそのままお待ちください。
 予想にかかる時間は、予想したレースや適用した予想理論、あるいはお使いのパソコンの性能等によって異なります。



⑦ 処理中のインジケータが消えれば予想は終了です。[結果表示] ボタンをクリックして、予想結果を確認してください。
 この予想結果は、ファイルに保存したり、Eメールアドレスに送信することもできます。ファイルへの保存については下のアドバイスを、Eメールアドレスへの送信については次ページで解説していますので、そちらをご覧ください。



アドバイス

予想結果を保存する

一括予想で予想した結果は、テキスト形式で保存することができます。結果をその場で競馬新聞等へ書き込んでもいいのですが、競馬道Pro5のみで予想している場合や、PAT投票を利用している場合は、ファイルに保存しておけばパソコン上ですぐに予想結果を確認できるので便利です。後で理論の検証をする際にも役立ちます。ファイルへの保存は、

予想結果を表示した手順⑦の画面で、[保存] ボタンをクリックして行ないます。保存先とファイル名を設定するウィンドウが開きますので、任意のフォルダとファイル名を指定してください。ファイル名には日付やレース名などを設定するとわかりやすいでしょう。保存したファイルの閲覧は、Windowsに標準で付属しているメモ帳等で行ないます。



2-5 予想結果をメールで送信する

競馬道Pro5の一括予想では、予想結果をあらかじめ登録しておいたメール送信先に手軽に送信することができます。Eメールの受信が可能な携帯電話に送信しておけば、競馬場等の外出先でも予想結果を確認することができます。

送信先の設定方法

① 予想結果の送信先の指定は56ページ手順①の画面 [レース一括予想] の [オプション] から行ないます。[送信] タブを開き、送信先のメールアドレスと、送信に使う [SMTPサーバ名] を入力すれば、最低限の設定は終了です。以下の項目については、利用する環境等に適した設定を行なってください。[アドレス] 欄にメールアドレスをカンマで区切って入力すれば、複数のアドレスに結果を送信できます。

※メールサーバによってはFrom (発信元アドレス) が指定されていないメールの送信を拒否する場合があります。メールが正しく送信されない場合は [Fromを付加する] にチェックを入れて発信元アドレスを記入してください。



② 通常の手順同様に一括予想を行ないます。予想が終了したら、[結果を送信] ボタンをクリックすれば、登録した送信先にメールが送信されます。手順①の画面で [上記のメールアドレスに予想終了後結果を送信] にチェックを入れておけば、この作業をしなくても予想終了と同時に結果がメールで送信されます。



③ メールを受信結果です。画面の例ではオプション設定で [詳細形式] をチェックして送信していますが、携帯電話の小さな画面なら、通常の形式で送信した方が読みやすいでしょう。通常の形式では馬名、性齢、斤量などの詳細情報が省略された内容 (前ページ手順⑦の画面と同様) が送信されます。

※予想印のDTは競馬ブック予想陣による予想印 (東: 松本憲二、西: 中野秀幸)、R1・R2・R3…は予想理論の印を表します。



2-6 予想理論を自動作成する

競馬道Pro5では、過去のデータをもとに予想理論を自動的に作成することが可能です。データを集計するレースを設定し、目標とする的中率、回収率を設定するだけで、簡単に最適な予想理論を作成できます。

最適理論の構築

①メインメニューの[予想]から[ユーザ理論の設定]を選び、[ユーザ理論設定]のウィンドウを表示します。ここで[最適理論構築]をクリックしてください。[ユーザ理論設定]のウィンドウはツールバーにあるアイコンをクリックしても表示することができます。



②[最適予想理論の構築]ウィンドウが表示されます。ここでは、まず理論の構築に利用するレースを選択します。最適予想理論の自動構築では、ここで選択したレースに的中率や回収率が規定の数値以上になるかどうかを判定しながら予想理論を作成します。レースの選択は、[レース]の項目にある[選択]ボタンをクリックして行ないます。



③レース選択は[日時・競馬場][開催][重賞]の3つのカテゴリ検索で、何レースでも選ぶことができます。[距離・馬場][年齢・クラス][配当][ベース・馬場状態]の各項目は、チェックボックスにチェックを入れた上で[詳細]ボタンをクリックして条件を設定してください。1つ、あるいは全部のタブで条件を設定し、それぞれのタブで[検索]をクリックすれば、条件に該当するレースが[結果]の欄に表示されます。



④ここでは、菊花賞を例にして最適予想理論を構築してみます。[重賞]タブの中でGIの菊花賞を検索した画面です。インストール時に「最大」または「標準」を選択した場合は93年以降の10レースが表示されますが、ここでは仮に、過去5年分のデータで理論を構築することにします。 unnecessaryレースは[削除]で削除してください。レースの選択が終了したら、[適用]をクリックします。



⑤[適用]をクリックすると、[最適予想理論の構築]ウィンドウに戻ります。ウィンドウ下部の黒いボックスに、適用したレース数が表示されますので確認してください。続いて[オプション]をクリックします。



⑥ オプション設定ウィンドウでは、最適予想理論を構築する際、的中率や回収率の計算に利用される買い目の数や馬券の種類を設定します。この設定方法は、予想理論を利用して予想する際の買い目の設定（メインメニューの【その他】から【オプション設定】、47ページ）と基本的には同様ですが、設定した内容は共通ではありません。買い目の設定を変更する場合は、こちらの画面でも同様に設定してください。



⑦ 【オプション】の設定が終了すると、【最適予想理論の構築】ウィンドウ（前ページ手順⑥）に戻りますので、続いて【理論項目】をクリックします。ここでは、最適予想理論の構築に用いたくない項目をチェックします。ここでチェックを入れた項目は、理論作成には使用されなくなります。チェックが終了したら【OK】をクリックしてください。



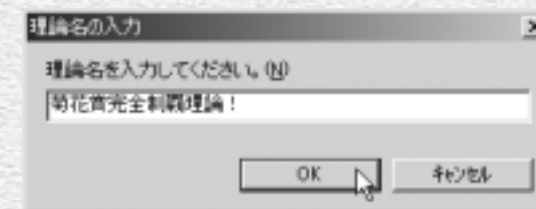
⑧ 次に、【繰り返し】【重視度】【その他】の設定を行いません。自動作成された理論的中率や回収率が目標に達しなかった場合は、繰り返して複数の理論が作成され、目標を超える理論が作成できた時点で自動作成は終了します。目標を超えなかった場合は、指定された回数で終了します。なお、回収率を0%に設定すると、回収率は終了条件から除外されます。繰り返しの回数や的中率に0を設定した場合も同様です。設定が終了したら、【実行】ボタンをクリックしてください。最適理論の自動作成が開始されます。



⑨ 最適予想理論の作成中は、ウィンドウ下部の黒いボックスの進行状況とともに、その上にインジケータも表示されます。インジケータが消え、「処理は終了しました。」と表示されたら理論の作成は終了です。画面に表示されている的中率や回収率の数値がバランスよく目標を達成されていると判断できれば【理論の保存】をクリックして作成した理論を保存します。もし目標とする数値に達していない場合などは、【回数】や【回収率】【的中率】【重視度】等を変更して再計算を試みてください。



⑩ 手順⑨で【理論の保存】ボタンをクリックすると、理論の名称の入力を求められますので、わかりやすい名称をつけて保存してください。



⑪ 保存した理論は【ユーザー理論指定】の中の、【設定済みの理論一覧】に追加されます。これで、作成した理論を予想に活用できるようになります。



アドバイス

予想情報を保存する

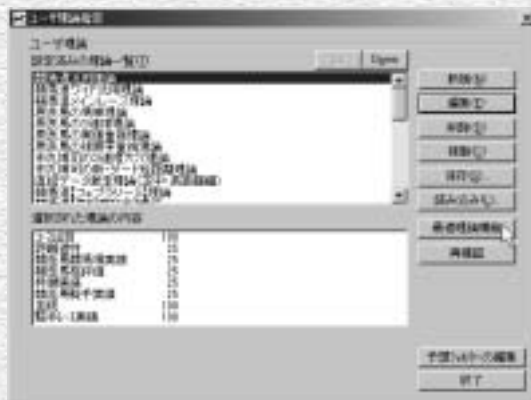
一度ある条件を設定して最適予想理論を作成すると【予想情報保存】のボタンがアクティブになります。この【予想情報保存】ボタンは、理論構築の際に利用した計算結果をファイルに保存するために利用します。ここで保存しておいたファイルを読み込めば、同一計算のムダを省くことが可能です。計算が終了した時点で【予想情報保存】をクリックし、ファイルの保存先とファイル名を指定すれば計

算結果が保存されます。再び同じ条件で計算をするときは、この画面で【予想情報読込】をクリックします。読み込むファイルを指定するウィンドウが開きますので、ここで先に保存したファイルを指定すれば読み込みは完了です。なお、競馬道Pro、Pro2、Pro3、Pro4で作成した予想情報を読み込むことはできません。



最適理論の構築を自動運転（同じ条件で理論を複数作成する）

① 最適理論の構築は、自動で複数回行なうことも可能です。自動運転を行えば、同じ条件設定から複数の理論を作成し、ユーザがその中から適切な理論を選ぶことができるようになります。自動運転の手順は、途中までは予想理論の自動作成で説明したものと同様です。メインメニューの【予想】から【ユーザ理論の設定】で、【ユーザ理論指定】ウインドウを表示し、ここで【最適理論構築】ボタンをクリックします。



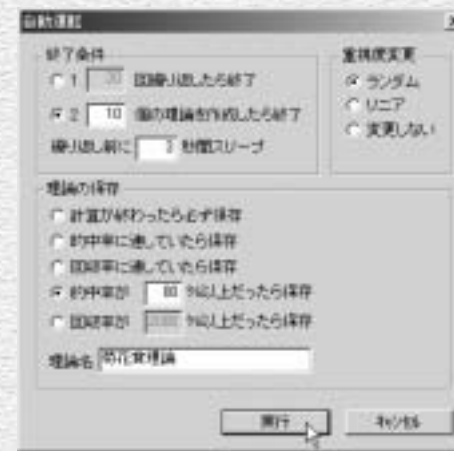
② 【最適予想理論の構築】ウインドウが表示されたら、予想理論の自動作成のときと同様に、理論の構築に利用するレースを選択します。ここでは、前ページまでと同様に菊花賞の過去5年を対象にしていますが、京都芝3000メートルの全レースや、3歳のG I戦を全て、といった選び方もできます。レースの選択が完了したら【理論項目】で理論作成に使用しない項目を設定します。



③ 【重視度】は、自動運転中に変更する設定（ランダム）にする場合（次ページ手順④）は、ここでは変更しなくて構いません。自動運転中の重視度を固定する場合のみ、ここで重視度を設定しておいてください。すべて終了したら【自動運転】ボタンをクリックします。



④ 自動運転の設定ウインドウです。終了条件や重視度、理論保存の条件等を設定します。終了条件にある【繰り返し前にn秒間スリープ】の値は、同じような理論がいくつも作成されてしまう場合に変更してください。重視度は【ランダム】に設定するとランダムに変更され、【リニア】では比率を一定の割合で変化させます。【変更しない】の場合は、前ページの手順③で指定した値になります。設定が終了したら【実行】ボタンをクリックしてください。



⑤ 【自動運転】のウインドウが閉じ、最適理論構築の自動運転が開始されます。インジケータとその下の画面に進行状況が表示されます。インジケータが右端まで到達したら、自動運転は終了です。手順④の設定に該当する条件の予想理論が、自動的に保存されます。



⑥ 自動運転で作成された予想理論です。理論の名前は、手順④で理論名に入力した文字に、番号、的中率、回収率を加えたものになります。画面で選択されている「菊花賞理論 1 (80-3297)」は、手順④で入力した「菊花賞理論」の1番目で、的中率が80%、回収率が3297%であることを示しています。ここで作成した予想理論は、他の理論同様に編集や複製が可能です。作成された理論を比較して、適切と思われるものを利用するといいでしよ。



予想理論を作り直す（再構築）

① 理論の再構築とは、既に作成されている予想理論に、最新のレース結果を反映させて、理論を作り直すことです。ここでは先に手動で作成した「競馬道マル得理論」を再構築してみます。メインメニューの「予想」から「ユーザ理論の設定」を選択します。「ユーザ理論指定」ウィンドウが表示されますので、再構築したい理論を選択して「再構築」ボタンをクリックします。再構築後は、新たに作成した理論がもともとの理論に上書きされますので、必要に応じて「複製」しておくといいでしょう（→次ページ、アドバイス参照）。



② 60ページから解説している「最適理論の構築」と同様に、理論構築の際に的中率、回収率を計算するレースを指定します。「レース」のボックスにある「選択」ボタンをクリックしてください。



③ 「レース群の選択」ウィンドウが表示されます。ここで選択したレース条件に合わせて、もとの理論項目を使った新しい理論を再構築します。



④ レースの選択が終了したら、「繰り返し」と「重視度」[その他]、そして「オプション」を設定し、「実行」をクリックします。再構築は、もともとの予想理論で採用されている予想項目のみを利用するため、「項目設定」をする必要はなく、そのボタンもありません。また「自動運転」は行なえません。



⑤ 理論の作成が終了したら、「理論の保存」をクリックして、再構築した理論を保存してください。「保存されました。」という確認のダイアログが出たら再構築は終了です。「閉じる」をクリックして、「最適予想理論の構築」ウィンドウを閉じます。



アドバイス

コピーを利用して再構築する

理論の再構築を実行すると、もともとの理論は、新たに作成された理論で上書きされます。もとの理論を保存しておきたい場合は、「ユーザ理論指定」のウィンドウの「設定済みの理論一覧」ボックスで保存したい理論を選択し、「複製」ボタンをクリックします。「コピー〜〇〇〇」という理論が作成されますので、そのコピーを利用して再構築を実行してください。



2-7 予想項目の説明

競馬道Pro5で予想理論を作成する際には、102種類の予想項目を使用することができます。各予想項目の内容は次の通りです。

競走馬	
斤量評価	出走馬の登録斤量によるタイム評価（(今回の斤量) - (同距離での最高タイム時の斤量)）×0.2+同距離での最高タイム
着順評価	出走馬の指定レース数の着順評価
競走馬競馬場実績	出走馬の同競馬場での着順評価
距離適性	出走馬の指定距離での着順評価
競走馬連対率	過去の全レースの連対率評価
競走馬勝率	過去の全レースの勝率評価
競走馬距離連対率	過去の全レースの指定距離範囲での連対率評価
競走馬距離勝率	過去の全レースの指定距離範囲での勝率評価
競走馬馬場適性	設定した馬場状態における着順評価
競走馬コース適性	出走馬の芝もしくはダートでの着順評価
血統（種牡馬総合実績）	指定期間の産駒の着順評価
枠順実績	出走馬の当該レースの枠順（内、中、外）での実績評価
頭数実績	出走馬の当該レースの頭数（少頭数、中頭数、多頭数）での実績評価
競走馬格評価	出走馬の格評価（クラスにおける着順を評価）
競走馬季節実績	出走馬の当該レースの季節（春、夏、秋、冬）での実績評価
競走馬騎手実績	出走馬の当該レースの騎手の実績評価
競走馬3着内率	過去の全レースの3着内率評価
競走馬距離3着内率	過去の全レースの指定距離範囲での3着内率評価
競走馬実績	該当馬の実績評価（1着数）
競走馬開催実績	競走馬の指定開催での実績評価
競走馬レース実績	指定距離範囲の同コースでの1～3着数評価
競走馬コース実績	同コースでの競走馬の勝率
競走馬コース勝率	同コースでの競走馬の勝率評価
競走馬コース連対率	同コースでの競走馬の連対率評価
競走馬コース3着内率	同競馬場とコースでの競走馬の3着内率評価
穴馬期待度	競走馬の穴馬期待度
競走馬2着率	過去の全レースの2着率評価
競走馬距離2着率	過去の全レースの指定距離範囲での2着率評価
競走馬3着率	過去の全レースの3着率評価
競走馬距離3着率	過去の全レースの指定距離範囲での3着率評価
直結指数	出走馬の直結指数評価

騎手	
騎手実績	指定期間の関東・関西総合の評価（1着数）
騎手連対率	指定期間の連対率評価
騎手勝率	指定期間の勝率評価
騎手距離連対率	指定期間の指定距離範囲での連対率評価
騎手距離勝率	指定期間の指定距離範囲での勝率評価
騎手レース実績	指定期間、指定距離範囲の同競馬場とコースでの1着数評価
騎手3着内率	指定期間の3着内率評価
騎手距離3着内率	指定期間の指定距離範囲での3着内率評価
騎手季節実績	当該レースの季節（春、夏、秋、冬）での実績評価
騎手開催実績	指定開催での実績評価
騎手枠順実績	当該レースの枠順（内、中、外）での実績評価
騎手頭数実績	当該レースの頭数（少頭数、中頭数、多頭数）での実績評価
騎手競馬場実績	同競馬場での実績（同競馬場での着順平均を評価）
騎手馬場適性	設定した馬場状態における着順評価
騎手距離適性	指定距離・指定レース数での着順評価
騎手着順評価	指定レース数の着順評価（出走頭数÷着順）
騎手トレーナー実績	当該レースのトレーナーの実績評価
騎手コース実績	指定期間の同競馬場とコースでの騎手の勝率
騎手コース適性	芝もしくはダート実績（過去の芝もしくはダートでの着順評価）
騎手コース勝率	指定期間の同コースでの騎手の勝率評価
騎手コース連対率	指定期間の同コースでの騎手の連対率評価
騎手コース3着内率	指定期間の同コースでの騎手の3着内率評価
騎手2着率	指定期間の2着率評価
騎手距離2着率	指定期間の指定距離範囲での2着率評価
騎手3着率	指定期間の3着率評価
騎手距離3着率	指定期間の指定距離範囲での3着率評価
騎手クラス実績	指定期間の同クラスレースにおける関東・関西総合の評価（1着数）
騎手クラス連対率	指定期間・同クラスレースの連対率評価
騎手クラス勝率	指定期間・同クラスレースの勝率評価
騎手クラス3着内率	指定期間・同クラスレースの3着内率評価
騎手クラス2着率	指定期間・同クラスレースの2着率評価
騎手クラス3着率	指定期間・同クラスレースの3着率評価

種牡馬	
種牡馬距離実績	指定期間の指定距離範囲での産駒の勝率
種牡馬コース実績	指定期間の同コース（芝・ダ・障害）での産駒の勝率
種牡馬季節実績	種牡馬産駒の当該レースの季節（春、夏、秋、冬）での実績評価
種牡馬開催実績	種牡馬産駒の指定開催での実績評価
種牡馬レース実績	指定期間、指定距離範囲の同コースでの1～3着数評価
種牡馬競馬場実績	種牡馬産駒の同競馬場での実績（同競馬場での着順平均を評価）
種牡馬距離適性	種牡馬産駒の指定距離・指定レース数での着順評価

厩舎

トレーナー連対率	指定期間の連対率評価
トレーナー実績	指定期間の関東・関西総合の評価（1着数）
トレーナー3着内率	指定期間の3着内率評価
トレーナー勝率	指定期間の勝率評価
トレーナー季節実績	当該レースの季節（春、夏、秋、冬）での実績評価
トレーナー開催実績	指定開催での実績評価
トレーナーレース実績	指定期間、指定距離範囲の同競馬場とコースでの1着数評価
トレーナー距離実績	指定期間の指定距離範囲でのトレーナーの勝率
トレーナー競馬場実績	同競馬場での着順平均評価
トレーナー距離適性	指定距離範囲での着順平均評価
トレーナーコース実績	指定期間の同競馬場とコースでのトレーナーの勝率
トレーナー2着率	指定期間の2着率評価
トレーナー3着率	指定期間の3着率評価
トレーナークラス実績	指定期間の同クラスレースにおける関東・関西総合の評価（1着数）
トレーナークラス連対率	指定期間・同クラスレースの連対率評価
トレーナークラス勝率	指定期間・同クラスレースの勝率評価
トレーナークラス3着内率	指定期間・同クラスレースの3着内率評価
トレーナークラス2着率	指定期間・同クラスレースの2着率評価
トレーナークラス3着率	指定期間・同クラスレースの3着率評価

タイム

平均タイム	出走馬の同距離でのタイム評価（指定レース数の平均タイム）
最高タイム	出走馬の同距離での最高タイム評価（過去の全出走レースを参照）
前半3F	出走馬の指定距離での前半3ハロンタイム評価（指定距離範囲の指定レース数平均）
上がり3F	出走馬の指定距離での上がり3ハロンタイム評価（指定距離範囲の指定レース数平均）
着差タイム	出走馬の指定距離での着差タイム評価（指定距離範囲の指定レース数平均）

競馬ブックデータ

レコード指数	出走馬の指定レース数のレコード指数平均
予想印	当該レースの予想印の評価
予想オッズ	当該レースの予想オッズの評価
調教印	当該レースの各出走馬の調教印の評価
レイティング	出走馬の該当レースでのレイティング値評価

人気・オッズ

人気評価	出走馬の指定レース数の人気評価（出走頭数÷人気）
オッズ評価	出走馬の指定距離範囲の指定レース数オッズ平均
コース出目	指定期間の同競馬場およびコースでの馬番別1～3着数評価

アドバイス

共通に使われる用語の詳しい内容については、以下を参考にしてください。

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 勝率評価 : 1着数÷出走数 | 3着率評価 : 3着数÷出走数 |
| 連対率評価 : (1着数+2着数)÷出走数 | 着順評価 : (出走頭数÷着順)の平均 |
| 3着内率評価 : (1着数+2着数+3着数)÷出走数 | 同コース : 芝・ダート・障害別のコースを指します。 |
| 2着率評価 : 2着数÷出走数 | 馬場 : 馬場状態（良・稍重・重・不良）を指します。 |